

[トヨタ] ブラインドスポットモニター (マスタ・スレーブ) 検査/表示/調整 (例 : プリウス ZVW50)

- 注意 :**
- ・測定は水平な床面で行って下さい。
 - ・周囲および路面に金属物が無い事を確認して下さい。
 - ・検査前に車内の荷物を降ろして下さい。
 - ・検査前にタイヤ空気圧を規定圧に調整して下さい。
 - ・検査スペース(W9 m × L10 m × H4 m)内には、リフレクター以外の物や人、大きな金属物を入れないで下さい。
 - ・ダイアグコード“C1ABB”または“C1ABC”が出力されていないことを確認して下さい。

- 参考 :**
- ・ブラインドスポットモニターのビーム軸点検は、センサーが電波を出しているかを確認する為に行います。
 - ・ブラインドスポットモニターのビーム軸確認はセンサーのビーム軸が正しいかどうかを確認するために実施し、リフレクターを使用してビーム軸の調整を行います。

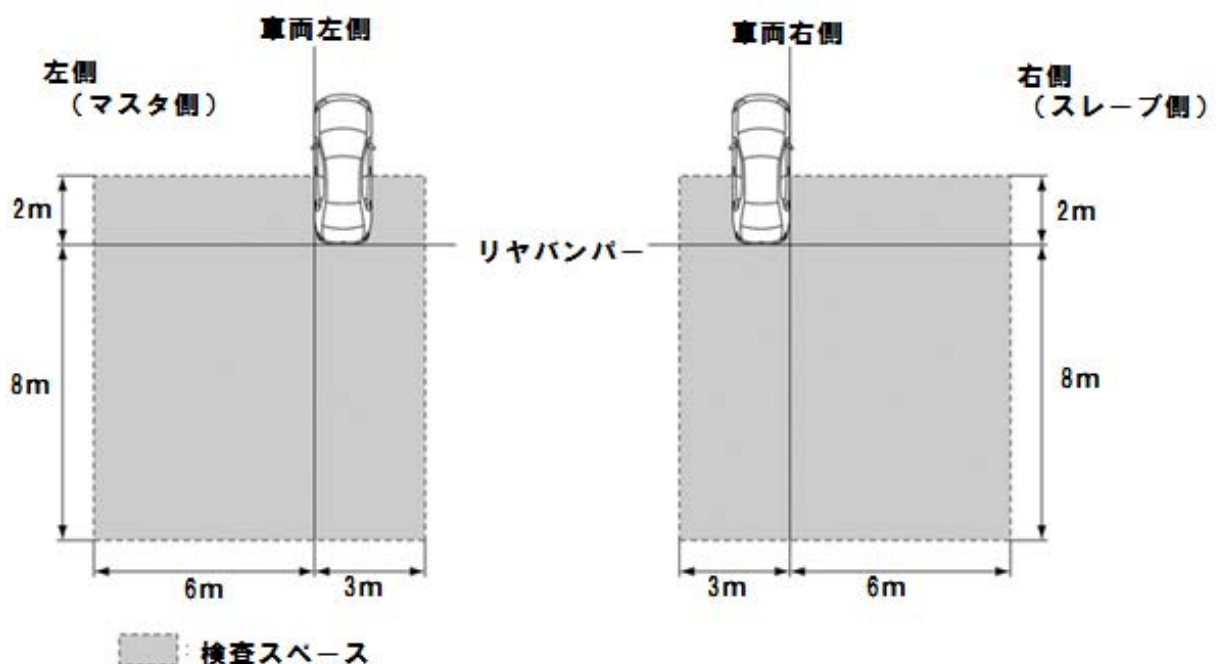
手順/操作

● ブラインドスポットモニター (マスタ・スレーブ) 検査/表示/調整

※一部イラストは整備書より引用しております

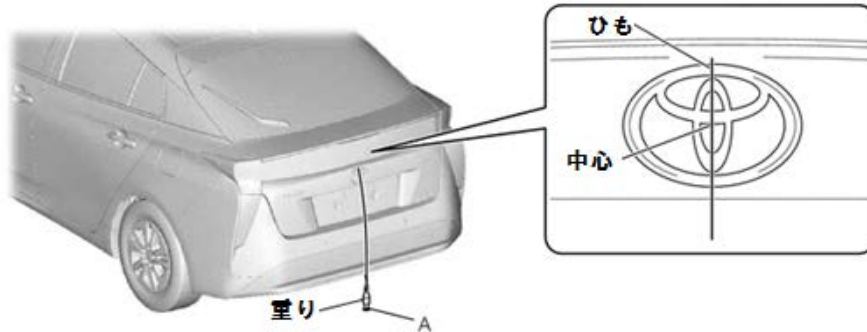
ブラインドスポットモニタービーム軸確認を実施する為に、下記スペースを確保できる場所へ車両を移動させて下さい。

1.



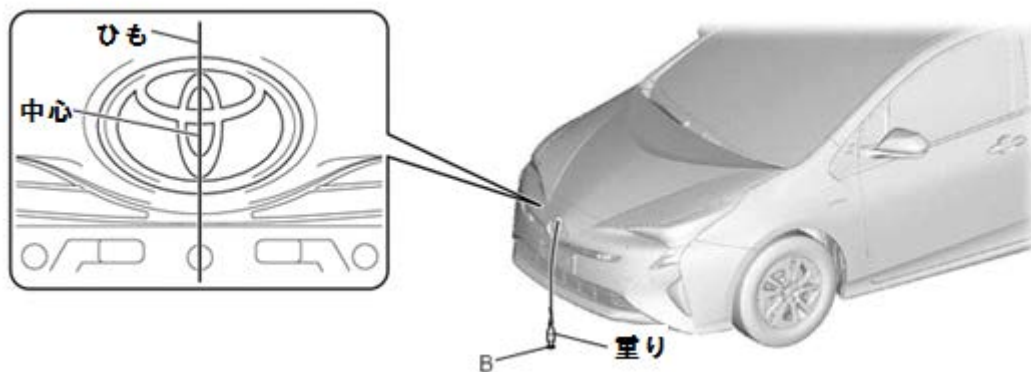
2.

リヤバンパの中央 (エンブレム中心) から先端のとがった重りを垂らし、指でつまんで数回弾きひもが床面に対して垂直である事を確認し、路面に A 点をマーキングして下さい。



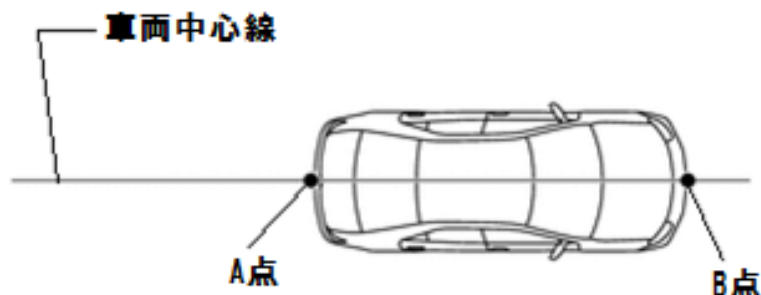
3.

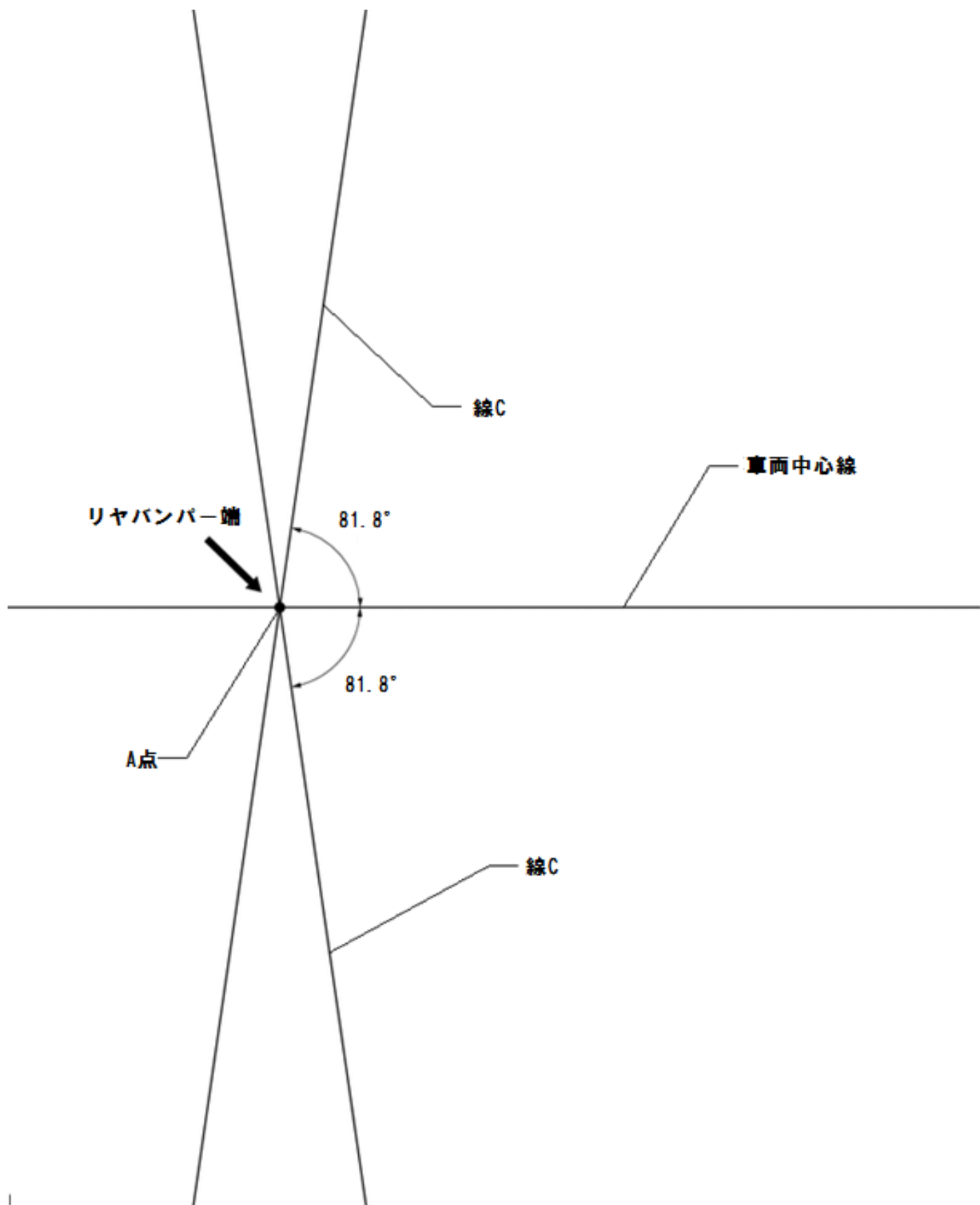
フロントバンパの中央 (エンブレム中心) から先端のとがった重りを垂らし、指でつまんで数回弾き、ひもが床面に対して垂直である事を確認し、路面に B 点をマーキングして下さい。



4.

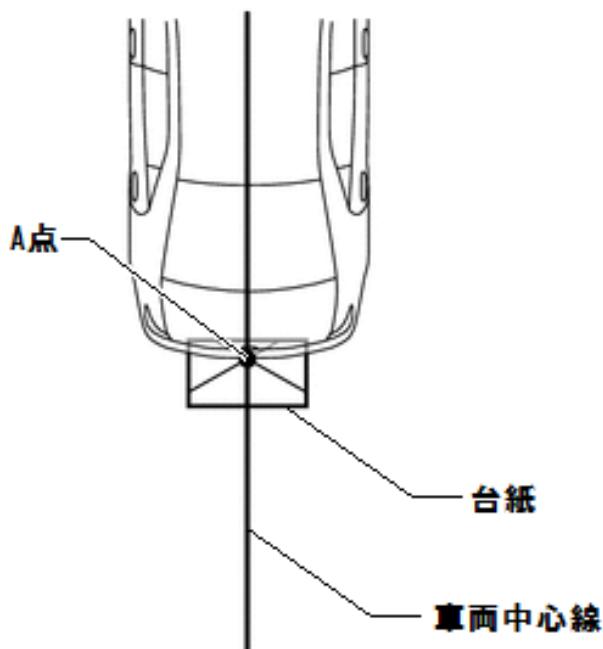
A 点及び B 点を通るように車両中心線を引いて下さい。





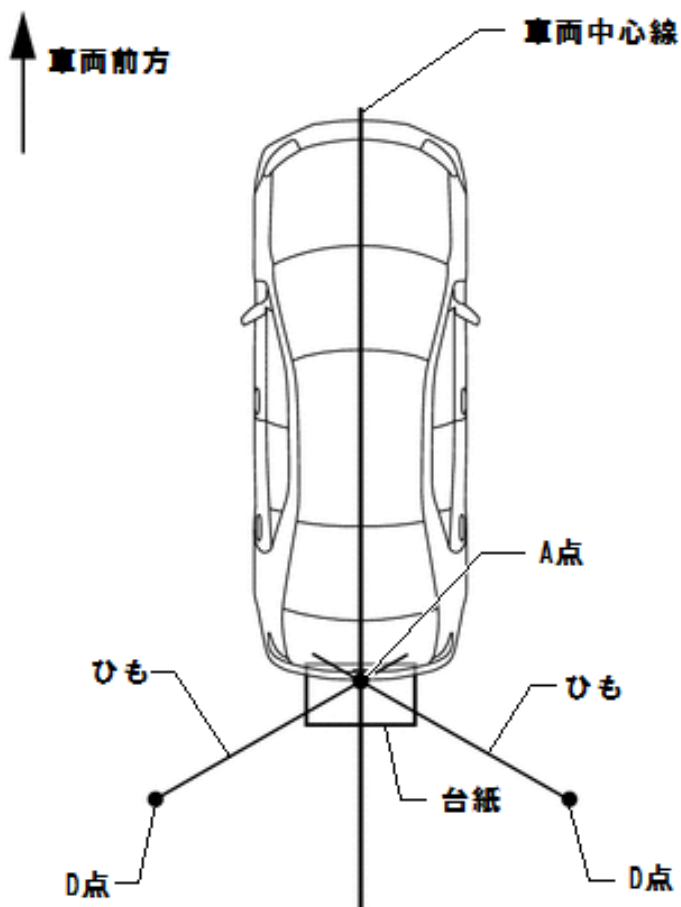
上記の台紙を印刷し、車両中心線と A 点を合わせて床に張り付けて下さい。

5.



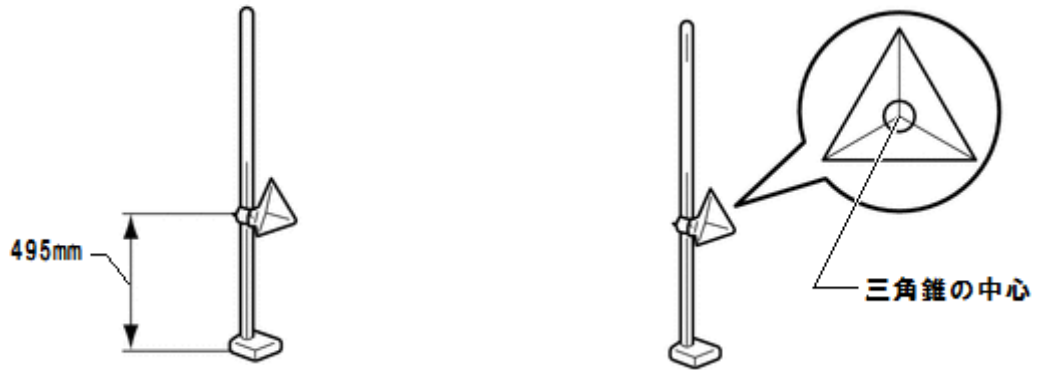
ひもを台紙の線 c に沿うように張り付け、A 点からの長さが 3193mm になる位置を D 点とし床面にマーキングして下さい。

6.



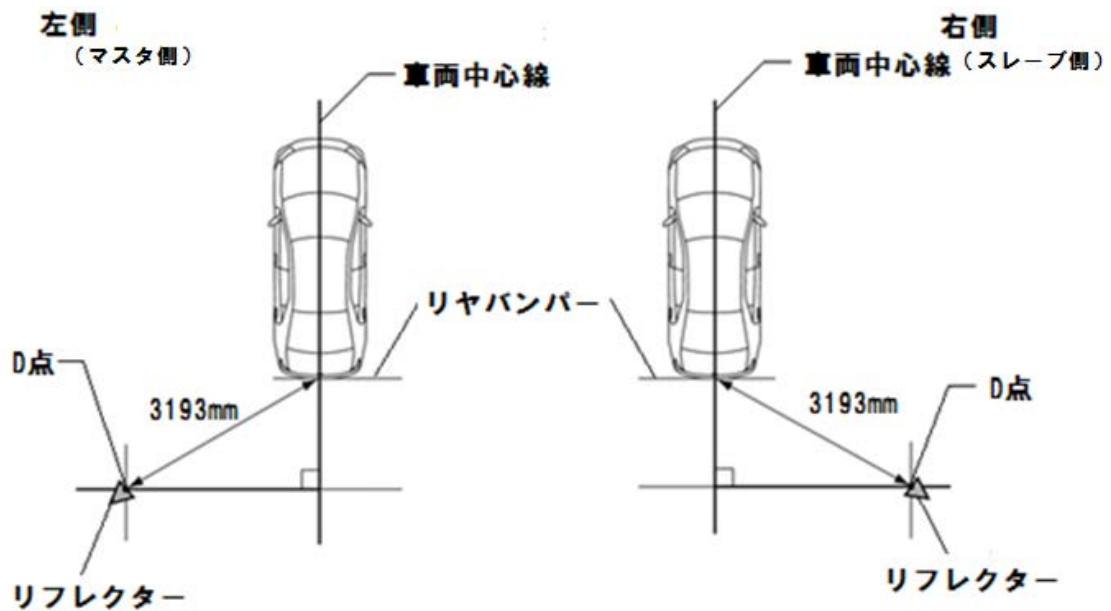
7.



リフレクターの高さを床から 495mm に合わせ、その際にリフレクター三角錐の中心がブラインドスポットモニターセンサに向くよう調整して下さい。



8.

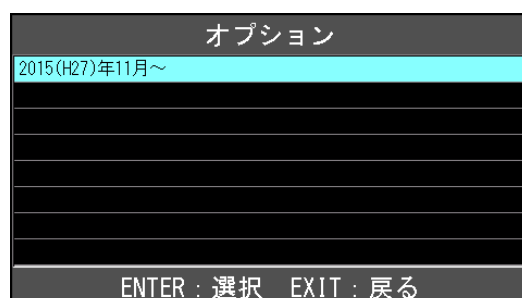
D 点に、手順 7 でブラインドモニターセンサに向くよう調整したリフレクターを、マスタ側またはスレーブ側に設置して下さい。



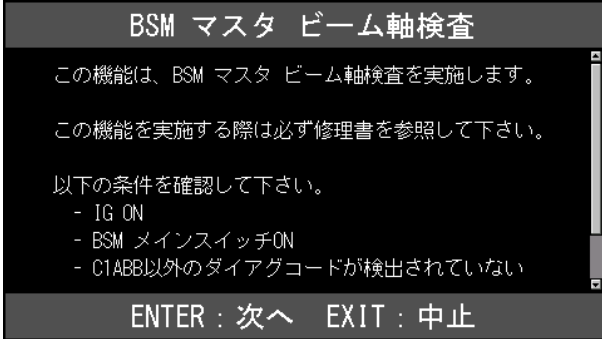
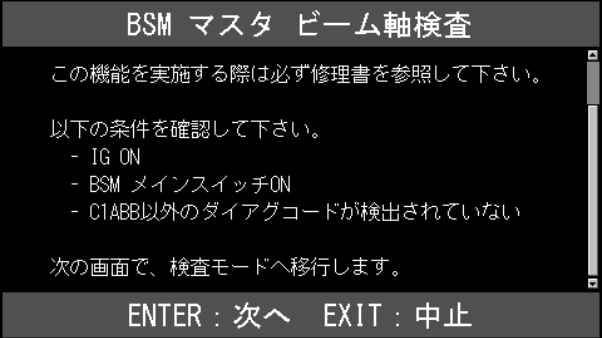
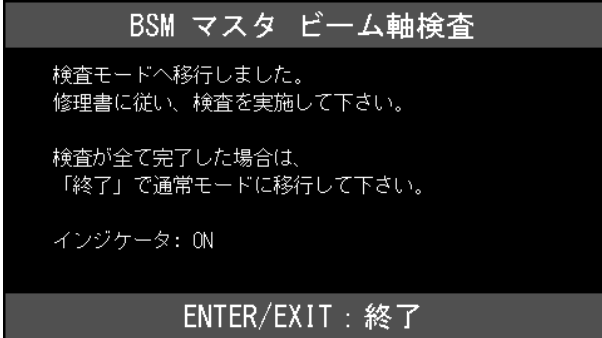
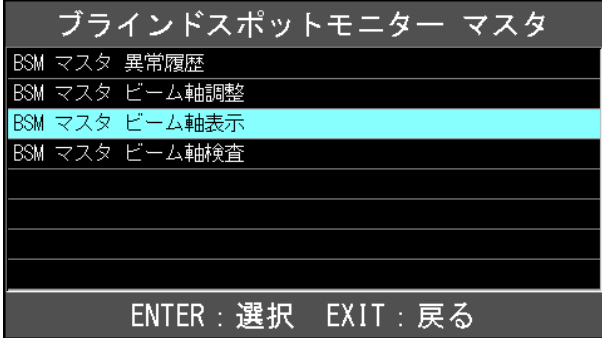
<p>9.</p>	<p>イグニッションスイッチが OFF であることを確認し、TPM-R を車両に接続して下さい。</p>																			
<p>10.</p>	<p>イグニッションスイッチを ON にして下さい。(ブレーキペダルを踏まずにプッシュスタートスイッチを 2 回押します)</p> <p>車両側のブラインドスポットモニターシステムを ON にして下さい。ステアリングパッドスイッチ ASSY に配置されたマルチインフォメーションディスプレイ操作スイッチによってマルチインフォメーションディスプレイを操作することにより、ブラインドスポットモニターシステムの ON/OFF を切り替えることができます。</p>	 <p>ブレーキを踏まずに、2 回プッシュします。</p>																		
<p>11.</p>	<p>『メーカー選択』画面から 〔国産乗用車〕 - 〔トヨタ/レクサス〕 を 選択して [ENTER] を押して下さい。</p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">メーカー選択</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>国産乗用車</td> <td>トヨタ/レクサス</td> </tr> <tr> <td>輸入車</td> <td>日産/インフィニティ</td> </tr> <tr> <td>国産トラック</td> <td>ホンダ/アキュラ</td> </tr> <tr> <td>OBDII</td> <td>三菱</td> </tr> <tr> <td>HV整備モード</td> <td>スズキ</td> </tr> <tr> <td></td> <td>ダイハツ</td> </tr> <tr> <td></td> <td>マツダ</td> </tr> <tr> <td></td> <td>スバル</td> </tr> </tbody> </table> <p>ENTER : 選択 EXIT : 戻る</p>	メーカー選択		国産乗用車	トヨタ/レクサス	輸入車	日産/インフィニティ	国産トラック	ホンダ/アキュラ	OBDII	三菱	HV整備モード	スズキ		ダイハツ		マツダ		スバル
メーカー選択																				
国産乗用車	トヨタ/レクサス																			
輸入車	日産/インフィニティ																			
国産トラック	ホンダ/アキュラ																			
OBDII	三菱																			
HV整備モード	スズキ																			
	ダイハツ																			
	マツダ																			
	スバル																			
<p>12.</p>	<p>『地域設定』画面から 〔日本〕 を選択して [ENTER] を押して下さい。</p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th>地域設定</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>日本</td> </tr> <tr> <td>北米</td> </tr> <tr> <td>欧州</td> </tr> <tr> <td>その他</td> </tr> </tbody> </table> <p>ENTER : 選択 EXIT : 戻る</p>	地域設定	日本	北米	欧州	その他													
地域設定																				
日本																				
北米																				
欧州																				
その他																				

13.

『車両選択』画面から〔自動検出〕を選択して〔ENTER〕を押して下さい。
 検出された車両情報に間違いが無い事を確認して〔ENTER〕を押して下さい。



<p>14.</p>	<p>『トヨタ メインメニュー』画面から [作業サポート] を選択して [ENTER] を押 します。</p>	 <p>トヨタ メインメニュー</p> <p>診断 カスタマイズ 作業サポート</p> <p>アクティブテスト</p> <p>ENTER : 選択 EXIT : 戻る</p>
<p>15.</p>	<p>『作業サポート』から [作業サポート (New)] を選択して [ENTER] を押して下さい。</p>	 <p>作業サポート Vbat 11.97 V</p> <p>作業サポート [New] 作業サポート [Previous]</p> <p>ENTER : 選択 EXIT : 戻る</p>
<p>16.</p>	<p>『作業サポート』から [ブラインドスポットモ ニターマスタ] を選択し [ENTER] を押して 下さい</p>	 <p>作業サポート</p> <p>RR席モータ メータ IPA/ICS/クリアランスソナー オートレベルリング 電源 ブラインドスポットモニター マスタ ブラインドスポットモニター スレーブ グリルシャッター</p> <p>ENTER : 選択 EXIT : 戻る</p>
<p>17.</p>	<p>『ブラインドスポットモニターマスタ』から [BSM マスタ ビーム軸検査] を選択し [ENTER] を押して下さい</p>	 <p>ブラインドスポットモニター マスタ</p> <p>BSM マスタ 異常履歴 BSM マスタ ビーム軸調整 BSM マスタ ビーム軸表示 BSM マスタ ビーム軸検査</p> <p>ENTER : 選択 EXIT : 戻る</p>

<p>18.</p>	<p>この機能は、BSM マスタビーム軸検査を実施します。</p> <p>この機能を実施する際は必ず修理書を参照して下さい。</p> <p>以下の条件を確認して下さい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ IG ON ・ BSM メインスイッチ ON ・ C1ABB 以外のダイアグコードが検出されていない <p>次の画面で、検査モードへ移行します。</p> <p>上記条件が整っている事を確認し[ENTER]を押して下さい。</p>	 
<p>19.</p>	<p>検査モードへ移行しました。</p> <p>修理書に従い、検査を実施して下さい。</p> <p>検査が全て完了した場合は「終了」で通常モードに移行して下さい。</p> <p>インジケータ : ON</p> <p>内容を確認して[ENTER]を押して下さい。</p>	
<p>20.</p>	<p>『ブラインドスポットモニターマスタ』から[BSM マスタビーム軸表示]を選択し[ENTER]を押して下さい。</p>	

21.

この機能は、BSM マスタビーム軸表示を実施します。

修理書に従い、リフレクタを設置して下さい。

以下の条件を確認して下さい。

- ・ IG ON
- ・ BSM メイン SW ON

次の画面で、検査モードへ移行します。

上記条件が整っている事を確認しリフレクタが手順 8 のマスタ側 D 点に正しく設置されている事を確認し[ENTER]を押して下さい。

BSM マスタ ビーム軸表示

この機能は、BSM マスタ ビーム軸表示を実施します。
修理書に従い、リフレクタを設置して下さい。

以下の条件を確認して下さい。

- IG ON
- BSMメインSW ON

次の画面で、検査モードへ移行します。

ENTER : 次へ EXIT : 中止

22.

データ出力が完了しました。

検知されたリフレクタ位置は以下の通りです。

角度 : 0.2deg

距離 : 2.4m

表示されている数値を確認し[ENTER]を押して下さい。

許容範囲

角度 -3.6°~+3.6°

距離 2.0m~3.0m

BSM マスタ ビーム軸表示

データ出力が完了しました。

検知されたリフレクタの位置は以下の通りです。

角度: 0.2 deg
距離: 2.4 m

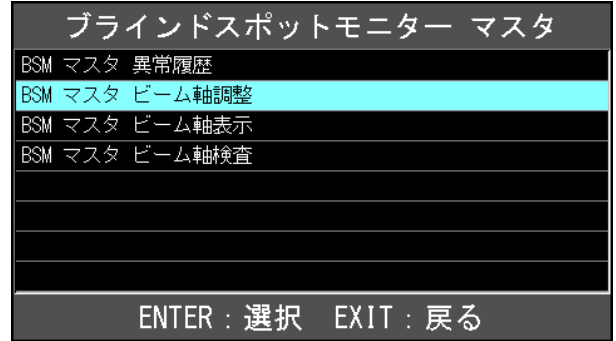
ENTER/EXIT : 終了

参考 :

- ・ 表示結果が許容範囲外であった場合、リフレクタ設置位置が正しくないか、金属物が検査スペース周辺に存在している可能性がある為、リフレクタ設置位置及び検査スペース周辺を確認し、再度実施して下さい。

23.

『ブラインドスポットモニターマスタ』から
[BSM マスタビーム軸調整]を選択し[ENTER]
を押して下さい。



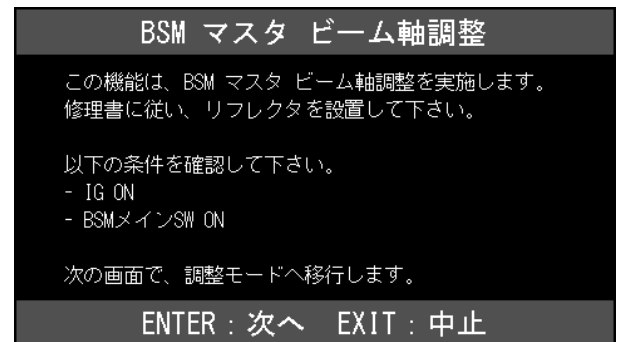
24.

この機能は、BSM マスタビーム軸調整を実施
します。
修理書に従い、リフレクタを設置して下さい。

以下の条件を確認して下さい。
・ IG ON
・ BSM メイン SW ON

次の画面で、調整モードへ移行します。

上記条件が整っている事を確認しリフレクタが
手順 8 のマスタ側 D 点に正しく設置されて
いる事を確認し[ENTER]を押して下さい。



25.

ビーム軸調節が完了しました。

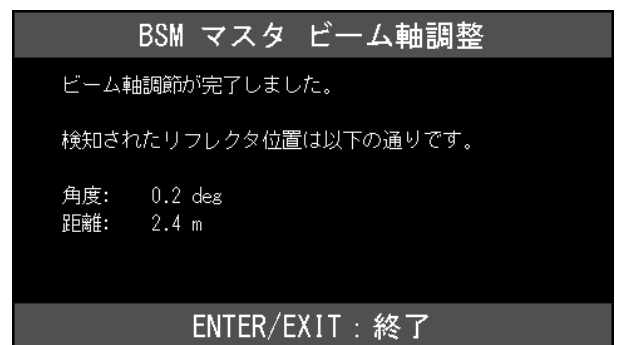
検知されたリフレクタ位置は以下の通りです。

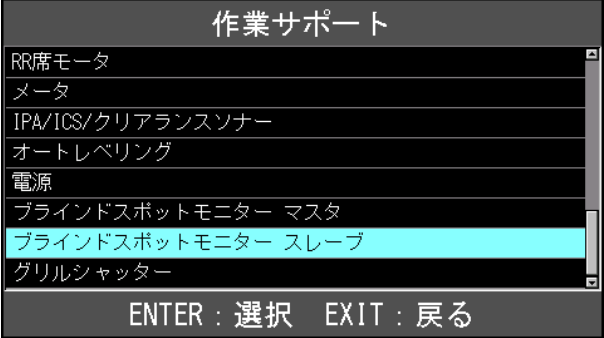
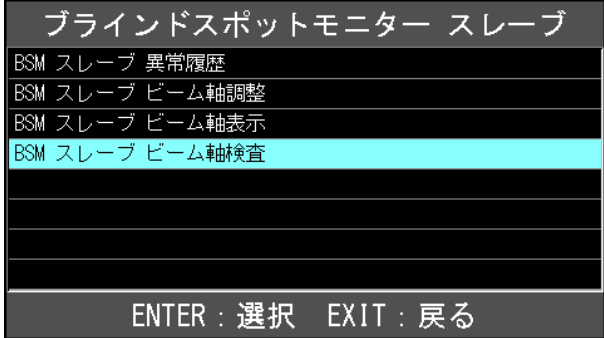
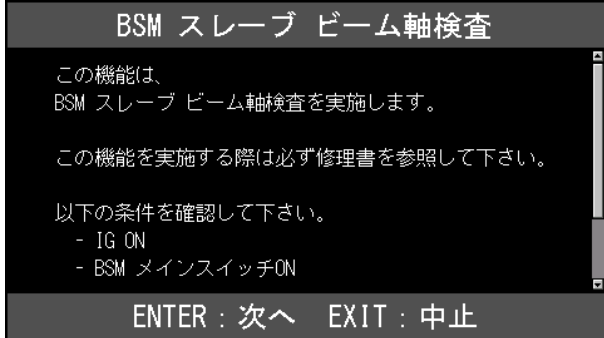
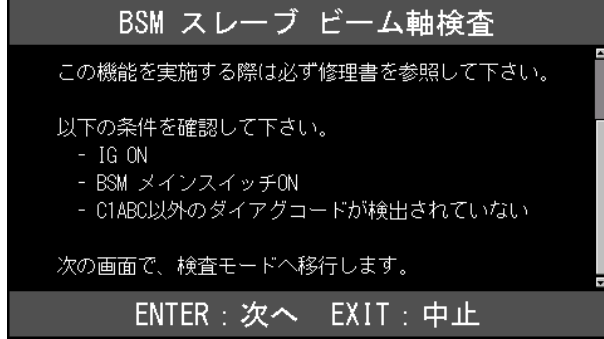
角度 : 0.2deg
距離 : 2.4m

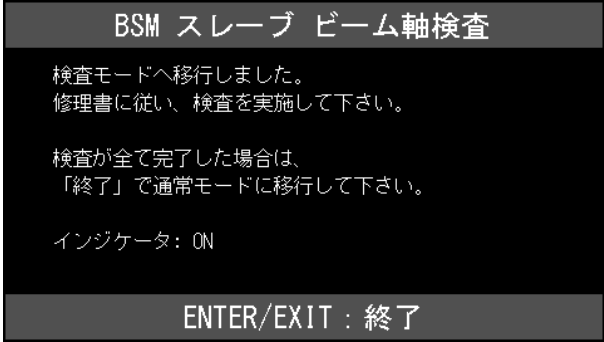
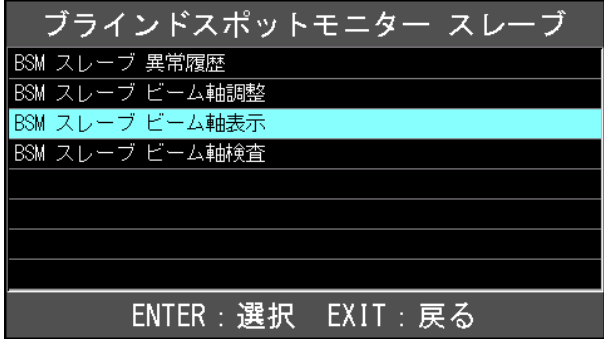
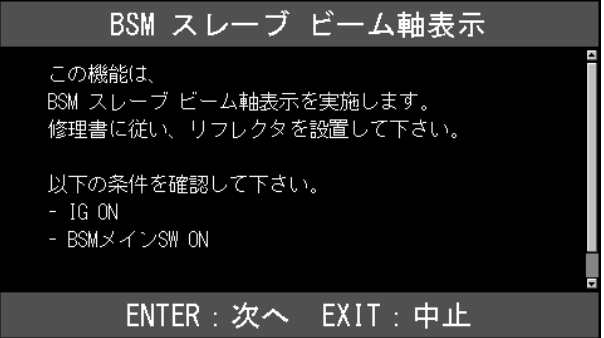
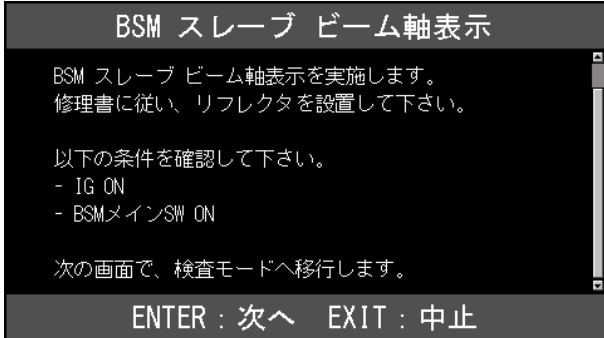
表示されている数値を確認し[ENTER]を
押して下さい。

許容範囲
角度 -3.6°~+3.6
距離 2.0m~3.0m

BSM マスタビーム軸表示の結果が許容範囲内
であれば、この調整によって正常な値に補正さ
れた事になりますので作業完了となります。



<p>26.</p>	<p>スレーブに関する作業もマスタと同様の手順になります。</p> <p>『作業サポート』から[ブラインドモニタースレーブ]を選択し[ENTER]を押して下さい。</p>	
<p>27.</p>	<p>『ブラインドスポットモニタースレーブ』から[BSM スレーブビーム軸検査]を選択して[ENTER]を押して下さい。</p>	
<p>28.</p>	<p>この機能は、BSM スレーブビーム軸検査を実施します。</p> <p>この機能を実施する際は必ず修理書を参照して下さい。</p> <p>以下の条件を確認して下さい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ IG ON ・ BSM メインスイッチ ON ・ C1ABC 以外のダイアグコードが検出されていない <p>次の画面で、検査モードへ移行します。</p> <p>上記条件が整っている事を確認し[ENTER]を押して下さい。</p>	 

<p>29.</p>	<p>検査モードへ移行しました。 修理書に従い、検査を実施して下さい。</p> <p>検査が全て完了した場合は「終了」で通常モードに移行して下さい。</p> <p>インジケータ : ON</p> <p>表示内容を確認して[ENTER]を押して下さい。</p>	
<p>30.</p>	<p>『ブラインドスポットモニタースレーブ』から[BSM スレーブビーム軸表示]を選択し[ENTER]を押して下さい。</p>	
<p>31.</p>	<p>この機能は、BSM スレーブビーム軸表示を実施します。 修理書に従い、リフレクタを設置して下さい。</p> <p>以下の条件を確認して下さい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ IG ON ・ BSM メイン SW ON <p>次の画面で、検査モードへ移行します。</p> <p>上記条件が整っている事を確認しリフレクタが手順 8 のスレーブ側 D 点に正しく設置されている事を確認し[ENTER]を押して下さい。</p>	 

32.

データ出力が完了しました。

検知されたリフレクタ位置は以下の通りです。

角度 : -1.3deg

距離 : 2.3m

表示されている数値を確認し[ENTER]を
押して下さい。

許容範囲

角度 -3.6°~+3.6°

距離 2.0m~3.0m

BSM スレーブ ビーム軸表示

データ出力が完了しました。

検知されたリフレクタの位置は以下の通りです。

角度: -1.3 deg

距離: 2.8 m

ENTER/EXIT : 終了

参考 :

- ・表示結果が許容範囲外であった場合、リフレクター設置位置が正しくないか、金属物が検査スペース周辺に存在している可能性がある為、リフレクター設置位置及び検査スペース周辺を確認し、再度実施して下さい。

33.

『ブラインドスポットモニタースレーブ』から
[BSMスレーブビーム軸調整]を選択して
[ENTER]を押して下さい。

ブラインドスポットモニター スレーブ

BSM スレーブ 異常履歴

BSM スレーブ ビーム軸調整

BSM スレーブ ビーム軸表示

BSM スレーブ ビーム軸検査

ENTER : 選択 EXIT : 戻る

34.

この機能は、BSM スレーブビーム軸調整を実施します。

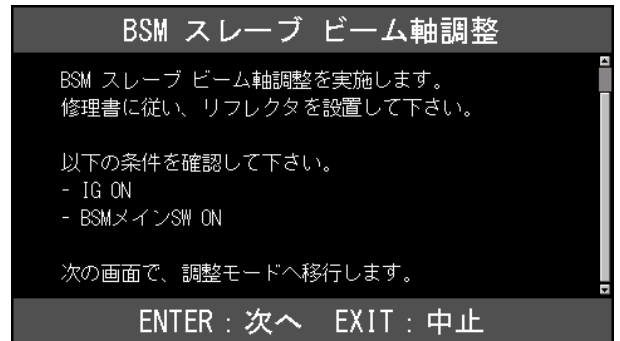
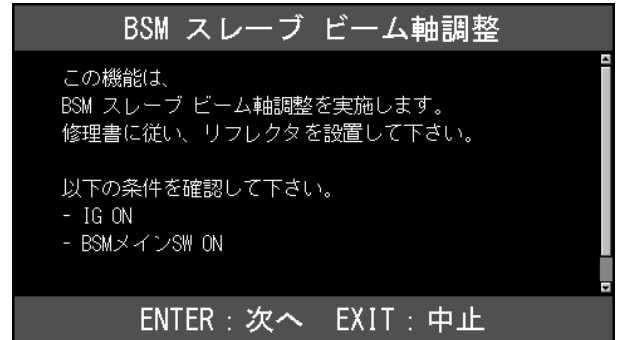
修理書に従い、リフレクタを設置して下さい。

以下の条件を確認して下さい。

- ・ IG ON
- ・ BSM メイン SW ON

次の画面で、調整モードへ移行します。

上記条件が整っている事を確認しリフレクタが手順 8 のスレーブ側 D 点に正しく設置されている事を確認し[ENTER]を押して下さい。



35.

ビーム軸調整が完了しました。

検知されたリフレクタ位置は以下の通りです。

角度 : -1.3

距離 : 2.8m

表示されている数値を確認して[ENTER]を押して下さい。

許容範囲

角度 -3.6°~+3.6

距離 2.0m~3.0m

BSM スレーブビーム軸表示の結果が許容範囲内であれば、この調整によって正常な値に補正された事になりますので作業完了となります。

『トヨタメインメニュー』まで[EXIT]を押して画面を戻し、車両を IG OFF にしてから安全に TPM-R を取り外して下さい。

